

2023年6月

2023年3月期 会社説明資料

東証スタンダード:9059

 **カンダホールディングス株式会社**

- 一、私達は、お客様に満足されるサービスを提供し、
お客様と共に繁栄します。
- 一、私達は、和の精神を大切にし、社員の生活向上を目指します。
- 一、私達は、研究と創造に努め、自己改革に挑戦します。
- 一、私達は、物流を通じて社会の発展に貢献します。

01. カンダグループの概要

会社概要	5
会社沿革	6
グループ構成	7
拠点ネットワーク	8

02. 事業の概要

事業の特徴	10
取扱品目別 営業収益構成比率	11

03. 2023年3月期 連結決算概要

決算推移（営業収益・営業利益・経常利益・当期純利益）	13
セグメント別業績	14
財務指標	15
貸借対照表	16
キャッシュフロー	17

04. 2023年3月期 トピックス

〔新規業務〕厚木市にて配送業務開始	19
〔新規業務〕尼崎市にて物流センター業務開始	20
〔物流DX〕先端技術の導入	21

05. 株価と配当推移

株価・配当推移	23
株価指標推移	24

06. 2024年3月期の取組み

2024年3月期 経営方針	26
創立80周年	27
〔株主還元〕株式分割と記念配当	28
〔株主還元〕株主優待制度の一部拡充と配当利回り	29
〔新規事業〕来店型集配金サービスの提供開始	30

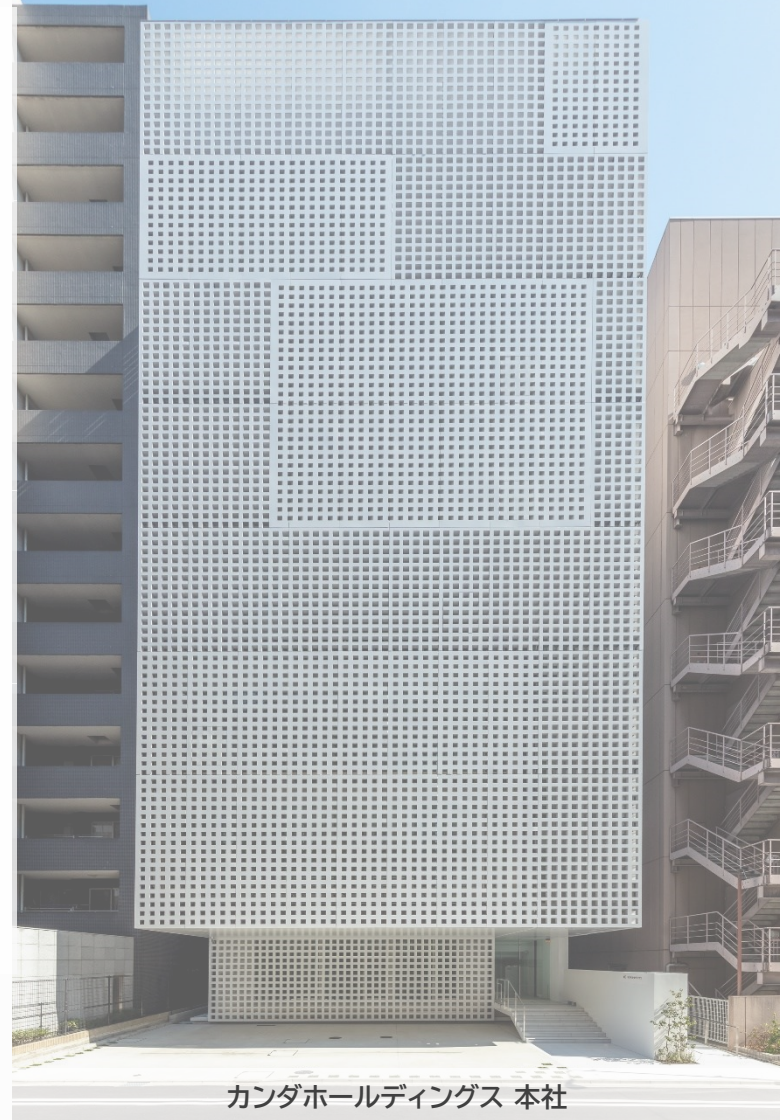
07. ESG・SDGs

ESGとSDGs	32
CSRLレポート	33
働きやすい職場認証制度	34
女性活躍の推進	35
ドローンスクール 国家資格の登録講習機関として認定	36
BCP	37
安全対策	38

01

カンダグループの概要

商号	カンダホールディングス株式会社
本社所在地	〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町三丁目2番4号
創業	1943年11月
代表者	代表取締役社長 原島 藤壽
資本金	17億7,278万4千円
事業内容	グループ全体の事業活動を統括・管理する
従業員数	連結：2,778名（2023年3月末日現在）
グループ会社	26社（2023年3月末日現在）
市場区分	東京証券取引所スタンダード
証券コード	9059



カンダホールディングス 本社

創業期

1943年

東京都神田区内の運送会社
16社の統合により発足



1945年

定期路線便の構築



1963年

出版共同配送開始



1991年

カンダコーポレーション(株)へ
社名変更



運送業から物流業へ

1994年

日本証券業協会に
株式を店頭登録



2004年

東京証券取引所
市場第二部へ上場

2006年

流通加工会社
(株)モリコーをグループ化



2009年

持株会社制へ移行
カンダホールディングス(株)へ社名変更

2011年

(株)ペガサスパーセルサービスより
国際宅配事業部門を譲り受け
国際物流事業へ本格的に進出
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)



総合物流企業を目指して

2012年

(株)ハーバーマネジメントをグループ化
(現 (株)ペガサスグローバルエクスプレス)

タイ バンコクに現地法人を設立

流通加工会社 (株)ジェイピーエルをグループ化



2014年

国際海上貨物混載会社 ニュースターライン(株)と
ベルトランス(株)をグループ化



2015年

日本物流ネットワーク協力会(JLNA)発足



2017年

低温輸送会社 (株)中村エンタープライズをグループ化



2020年

カンダリテールサポート(株)と
カンダビズパートナー(株)が事業開始



2021年

システム開発会社 (株)ソフトエイジをグループ化



2022年

重量物輸送会社 堀切運輸(株)をグループ化



価値ある物流を未来へ

持株会社



事業会社：国内物流/システム開発

カンダコーポレーション

カンダコアテクノ

カンダリテールサポート

ロジメディカル

カンダ物流

埼玉配送

神協運輸

ヤマナシ流通

アサクラ

名岐物流サービス

モリコー

関西配送

ジェイピーエル

中村エンタープライズ

ロジメック

ソフトエイジ

堀切運輸

事業会社：国際物流

ペガサスグローバルエクスプレス

ニュースターライン

ベルトランス

PGEタイ

機能分担会社

カンダビズパートナー

ケイ・コム

神田エンタープライズ

神田ファイナンス

カンダハーティーサービス

拠点ネットワーク

エリア別 事業拠点数

グループ合計 **110** 拠点

中四国 1
広島県 1

九州 1
福岡県 1

海外 1
バンコク(タイ) 1



関西 14
大阪府 7
兵庫県 4
京都府 2
三重県 1

中部 10
愛知県 8
山梨県 1
静岡県 1

東北 4
宮城県 3
岩手県 1

関東 79
埼玉県 28
東京都 23
群馬県 12
栃木県 6
千葉県 6
神奈川県 4



2023年3月末日現在

02

事業の概要

事業の特徴

■ 当社の強み

1つの業種・業態、企業に偏らない
幅広い営業基盤

総合力(庫内・輸配送・国際物流・情報システム)を活かした
複合的な物流体制

3,500社超のお客様に認められた
高品質できめの細かいサービス

■ サービスメニュー

国内物流 (庫内)



物流センター
(在庫型)



物流センター
(通過型)



流通加工



機密文書保管



社内メール
サービス

国内物流 (輸配送)



共同輸配送



チャーター便



冷蔵・冷凍輸送



現金・貴重品輸送
(CASHNET)



液体輸送
(ローリー)



建材輸送



介護輸送



宅配



重量物輸送

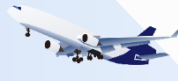


廃棄物収集運搬

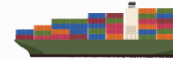
国際物流



国際宅配



航空輸送



海上輸送



越境EC



現地法人

情報システム



データセンター



ソフトウェア開発



システム
ソリューション



WMS



Web EDI

取扱品目別 営業収益構成比率

2023年3月期 構成比率



	構成比率	(参考前年)
医療・薬品・HBC*	26.5%	26.4%
国際	25.0%	24.3%
食品	13.0%	14.3%
出版・印刷物	9.6%	11.1%
生活雑貨	7.7%	7.9%
現金・証券	7.5%	7.7%
段ボール原紙	2.5%	0.0%
不動産	1.7%	1.8%
システム開発保守**	1.5%	0.8%
その他	5.0%	5.8%

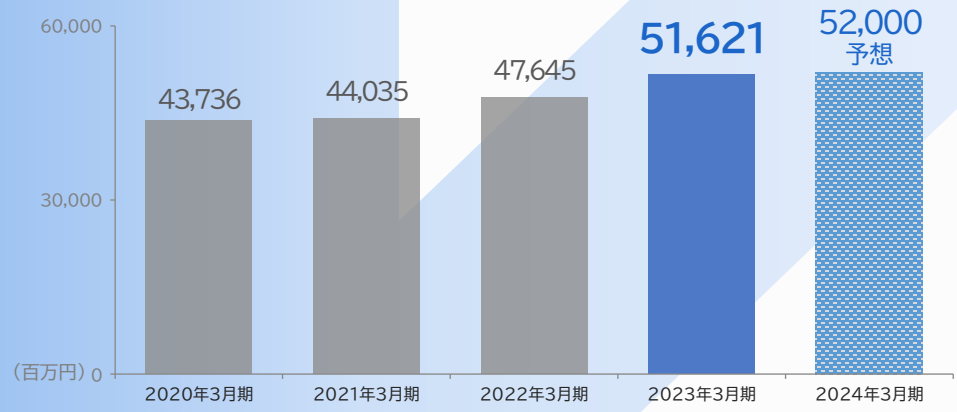
* HBC … Health&Beauty Care の略称で健康食品や美容品などが含まれます。
 ** システム開発保守 … (株)ソフトエイジのグループ化に伴い、新たにセグメント化しております。

▷ グループ化した2社(ソフトエイジは「システム開発保守」、堀切運輸は「段ボール原紙」)を新たに分類しております。

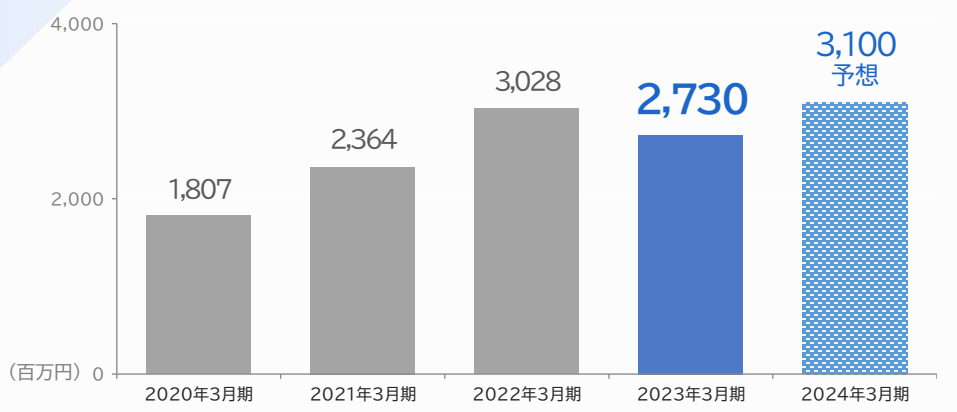
03

2023年3月期 連結決算概要

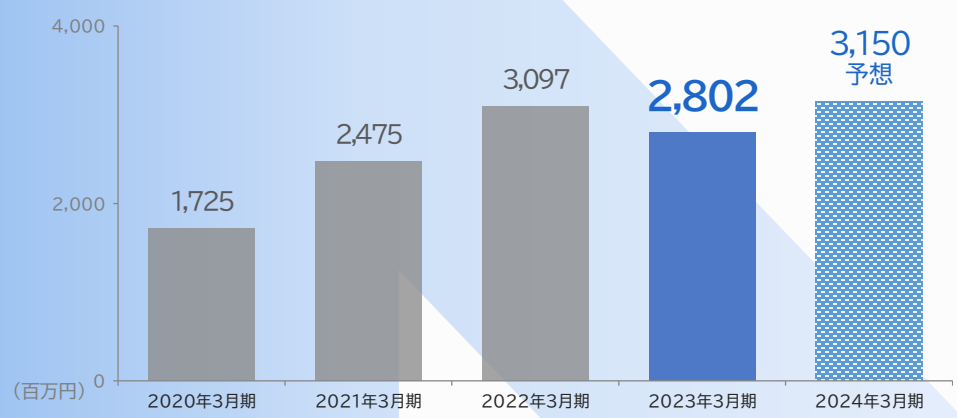
営業収益



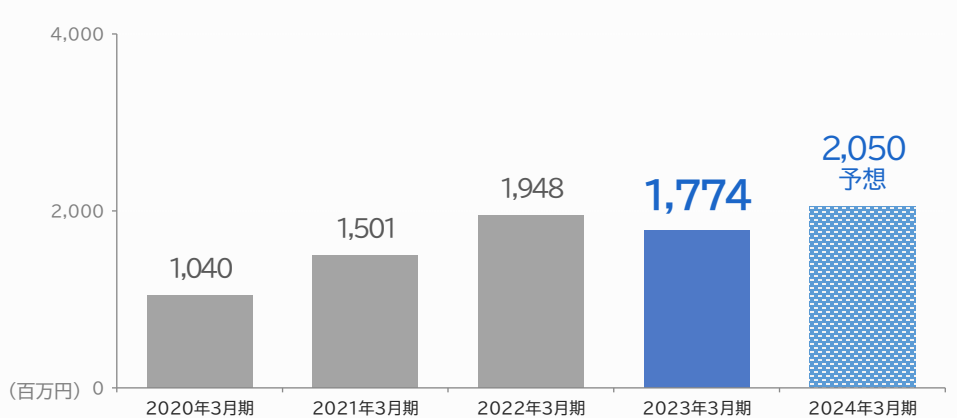
営業利益



経常利益



当期純利益

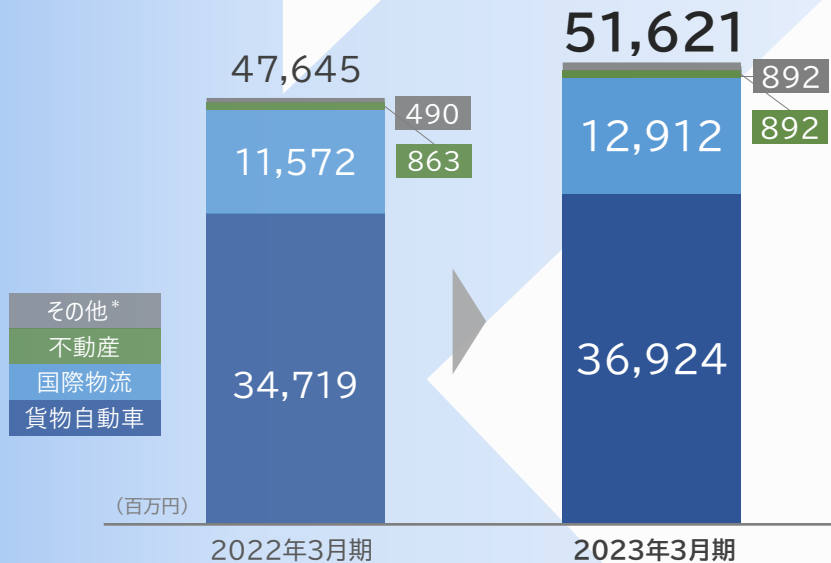


[営業収益]
500億円 達成

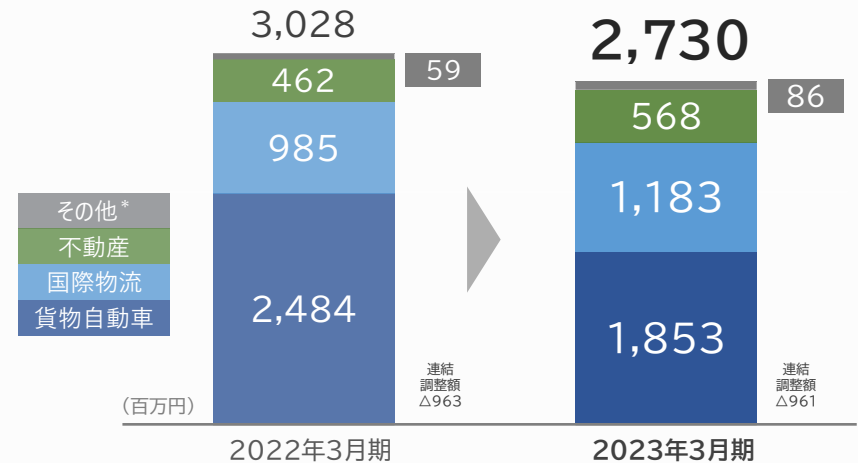
連結決算概要

■ セグメント別業績 (連結調整後)

[営業収益]



[営業利益]



*「その他」セグメント:リース業、コンピュータソフト開発保守業、保険代理店業、部品販売業、太陽光発電業、清掃業、事務代行業の総額です。




国内




- ▶ 食品、衛生用品、日用雑貨等の貨物量については引き続き堅調に推移
- ▶ 新規業務の獲得や既存取引の業容拡大、M&A等により営業収益が拡大
- ▶ 輸配送業務の燃料費や庫内業務の電気代など、調達コストの上昇が利益面に大きく影響

国際

- ▶ 新型コロナウイルス感染症により制限されていた世界の経済は回復に向かう
- ▶ 2022年度上期頃まで続いた国際輸送ニーズの特需と運賃高騰が収益を押し上げる
ただし、第3四半期を境に落ち着きが見られコロナ禍以前へと向かいつつある

財務指標

改善  横ばい  悪化 

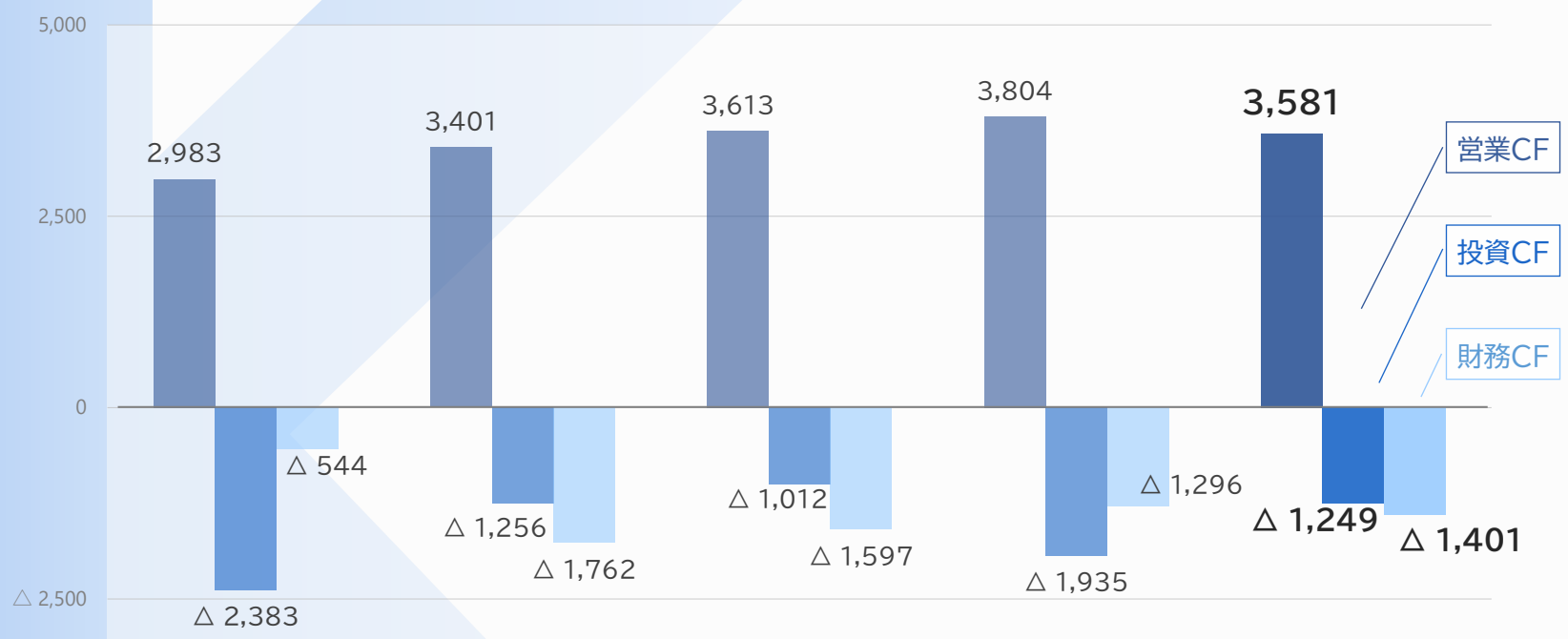
	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	
総資産 (百万円)	39,487	39,562	40,831	41,247	42,306	
純資産 (百万円)	16,910	17,681	19,138	20,563	22,033	
1株あたり純資産 [BPS] (円)	1,566.44	1,639.26	1,776.82	1,909.08	2,046.49	
1株あたり当期純利益 [EPS] (円)	75.27	96.65	139.48	181.03	164.91	
自己資本比率 (%)	42.7	44.6	46.8	49.8	52.1	
自己資本利益率 [ROE] (%)	4.9	6.0	8.2	9.8	8.3	
総資産経常利益率 (%)	4.1	4.4	6.2	7.6	6.7	
売上高営業利益率 (%)	3.9	4.1	5.4	6.4	5.3	
売上高経常利益率 (%)	3.7	3.9	5.6	6.5	5.4	
負債資本倍率 [D/Eレシオ] (倍)	0.58	0.49	0.40	0.34	0.28	
有利子負債 (百万円)	9,783	8,635	7,704	7,018	6,273	
債務償還年数 (年)	3.8	2.9	2.5	2.1	2.0	

貸借対照表

(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
流動資産	13,247	13,324	14,671	15,458	16,427
固定資産	26,239	26,238	26,160	25,789	25,878
資産合計	39,487	39,562	40,831	41,247	42,306
流動負債	13,142	12,565	13,474	13,374	14,018
固定負債	9,434	9,315	8,218	7,309	6,255
負債合計	22,577	21,881	21,693	20,684	20,273
純資産合計	16,910	17,681	19,138	20,563	22,033
負債・純資産の合計	39,487	39,562	40,831	41,247	42,306

■ キャッシュフロー



(百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
営業CF	2,983	3,401	3,613	3,804	3,581
投資CF	△2,383	△1,256	△1,012	△1,935	△1,249
財務CF	△544	△1,762	△1,597	△1,296	△1,401

04

2023年3月期 トピックス

[新規業務] 厚木市にて配送業務開始

2022年6月 神奈川県厚木市にてペット用品のメーカー共配業務を開始しております。



物流総合効率化法の認定状況

令和2年3月31日
国土交通省
公共交通・物流政策審議官部門

国土交通省
令和2年2月3日認定
をそれぞれ関東
ル「神奈川県」を
。令和3年11月より
計画として認定。
事業者>
し

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

<特定流通業務施設の概要>
- 所在地: 神奈川県厚木市三田
- アクセス: 新厚木中央連絡自動車道厚木ICから
約3分
- 延床面積: 14,811.29㎡
- ロジスティカルのトランプ営業所を併設

国土交通省HP:物流総合効率化法の認定状況ページより

名称	厚木営業所
所在地	神奈川県厚木市
お客様	ペット用品卸様
業務範囲	輸配送業務（仕入先集荷/拠点間/量販店向け）

➡ 本取組みにおける効果（計画値）

車両台数、走行距離削減により
CO2排出量 約58%削減

当社営業所の併設により
手待ち時間 約65%削減

- ▶ 本営業所は、お客様と当社が協業してペット関連商材のメーカー様の物流負担と環境を改善することを目的とし、「物流総合効率化法」における流通業務総合効率化事業として、国土交通省より認定を受けております。
- ▶ 今後もお客様とともに発展すべく、最適な物流を提供してまいります。

[新規業務] 尼崎市にて物流センター業務開始

■ 2022年10月 美容ディーラー様 西日本物流センターの3PL業務が開始いたしました。



名称	尼崎営業所
所在地	兵庫県尼崎市
お客様	美容ディーラー様
業務範囲	理美容品のDC及び配送業務

- ▶ 既存の東日本物流センターに続いて、西日本物流センターの業務についても受託をいたしました。
- ▶ 今後もお客様の物流を包括的に支援すべく、業務範囲の拡大に取り組んでまいります。

[物流DX] 先端技術の導入

■ 先端技術による次世代型ロジスティクスの構築に向けて実装研究に取り組んでおります。

[安全運転支援システムの試験導入]



出発前
体調管理測定



運転中
疲労度測定



運転中
安全運転検知

- ✓ ドライバーの健康状態を測定しAIで評価
- ✓ 運行中の危険な状況をリアルタイムで検知・通知
- ✓ 管理者は可視化されたデータを端末で一元管理

ドライバーの
健康管理

交通事故の
未然防止

運行の
一元管理化

▶ 車両を配置する2営業所で試験導入中

[AMR(自律走行搬送ロボット)の導入検討]



✓ ピッキング業務における作業支援ロボット

人手不足の
解消

生産性の
向上

労務管理の
効率化

▶ 2023年度中の導入に向けて準備を進めております

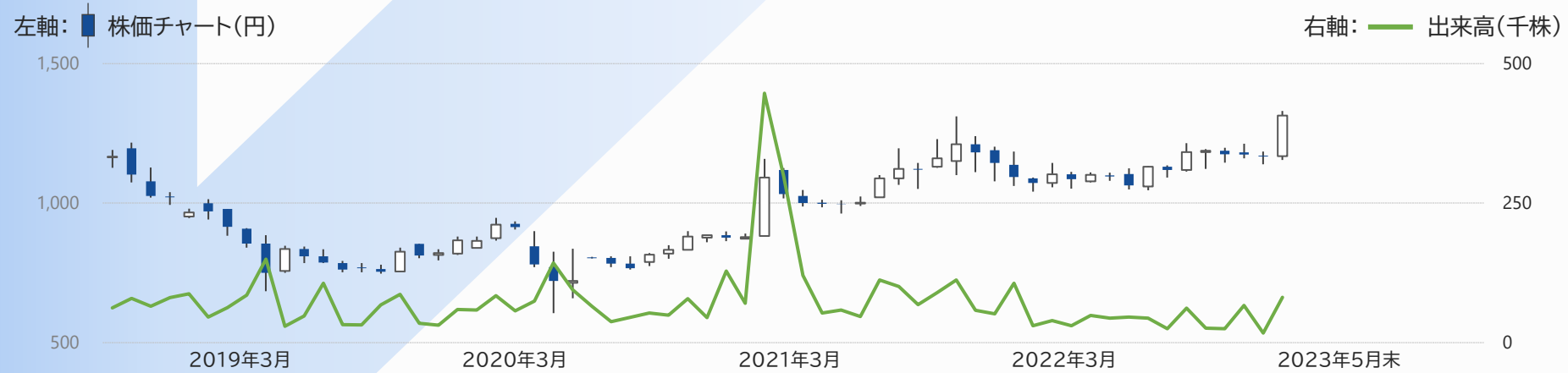
- ▶ 人手不足の解消や働きやすい職場環境の整備に対して非常に有効であると期待をしております。
- ▶ 上記以外にも、省人省力化機器の導入や事務作業のシステム化等について検討を進めてまいります。

05

株価と配当推移

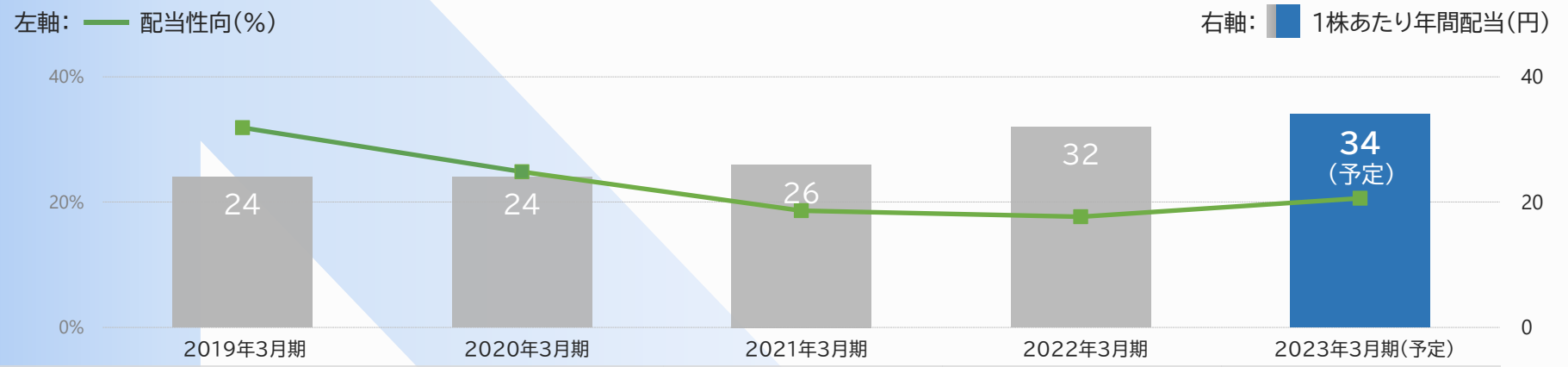
株価・配当推移

■ 株価・出来高



株価(終値)	787円	721円	1,032円	1,093円	1,313円
--------	------	------	--------	--------	--------

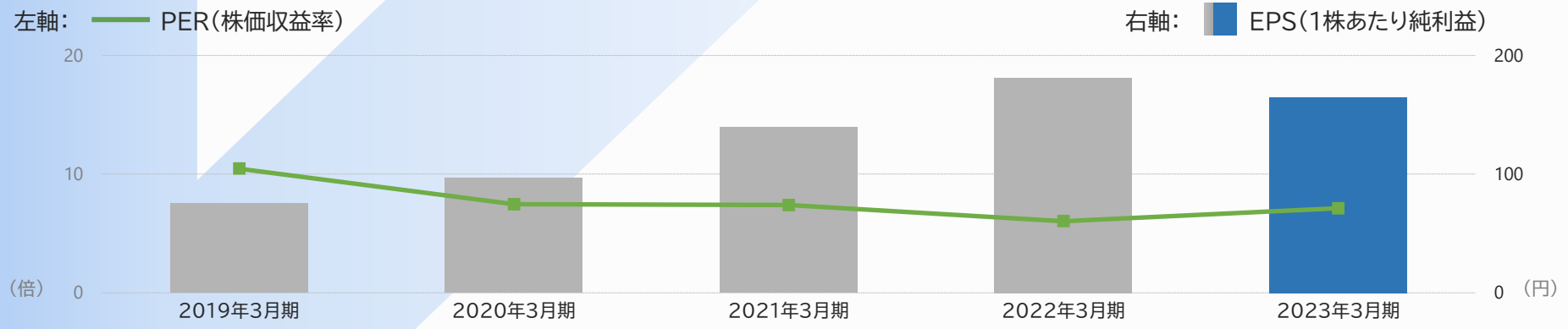
■ 配当・配当性向



配当性向	31.9%	24.8%	18.6%	17.7%	20.6%
年間配当/株	24円	24円	26円	32円	34円

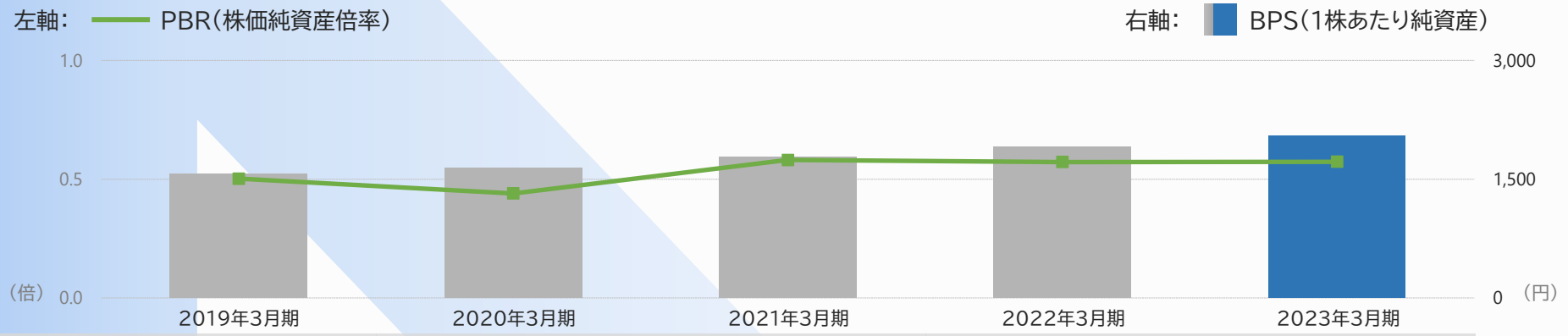
株価指標推移

PER・EPS



PER	10.5倍	7.5倍	7.4倍	6.0倍	7.1倍
EPS	75.27円	96.65円	139.48円	181.03円	164.91円

PBR・BPS



PBR	0.50倍	0.44倍	0.58倍	0.57倍	0.57倍
BPS	1,566.44円	1,639.26円	1,776.82円	1,909.08円	2,046.49円

06

2024年3月期の取組み

80年を超え500億を超えて 新カンダを皆で築いていこう

1. 新規業務の獲得

- ▶ 既存顧客の深耕はもとより、新たな顧客獲得を目指す



2. 新時代に合わせた明るい職場づくり

- ▶ コンプライアンスの強化
- ▶ 社内コミュニケーションの向上（80周年記念行事の開催）
- ▶ 時間管理の徹底（2024年問題への対応）
- ▶ 働き方・賃金の見直し
- ▶ CSR(企業の社会的責任)の推進（ESG経営・SDGs）



3. インフレ・人手不足時代に合わせた新たな取組み

- ▶ 適正運賃の確保
- ▶ 持続可能な協力会社の育成
- ▶ グループ会社の再編
- ▶ 採用・教育の強化
- ▶ 物流DXの推進
- ▶ M&Aの推進

4. 交通事故・労災事故削減

- ▶ 交通事故・労災事故削減



■ 2023年11月 おかげさまで創立80周年を迎えます。



おかげさまで

80th Anniversary

カンダグループ

日頃よりステークホルダーの皆様の支えがあってのことと
心より感謝申し上げます。



[株主還元] 株式分割と記念配当

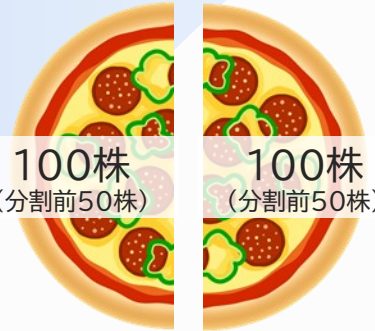
■ 1株につき2株の割合で株式分割を実施いたします。[基準日:2023年6月30日予定]

[分割前]



株価 1,313円×100株
= 131,300円

[分割後]



株価 657円×100株
= **65,700円**

最低投資金額
変更イメージ

※ 分割前を2023年5月31日終値1,313円として、
分割後をその半値の657円として算出。

最低投資金額を引き下げることで
より投資をしやすく

■ 創立80周年を記念して増配を実施いたします。[2024年3月期中間配当にて実施予定]

	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2024年3月期 (予想)	9.5円 普通配当 8.5円 +記念配当 1円	8.5円 普通配当 8.5円	18円 普通配当 17円 +記念配当 1円
※分割前換算	19円 普通配当 17円 +記念配当 2円	17円 普通配当 17円	36円 普通配当 34円 +記念配当 2円

株主の皆様へ感謝を込めて
80周年記念配当の実施

[株主還元] 株主優待制度の一部拡充と配当利回り

■ 株主優待制度の一部拡充

株式分割後も、株主優待の対象を100株以上に据え置くことで、優待制度を実質的に一部拡充させていただきます。

保有株式数	株主優待
100株以上 (分割前50株以上)	図書カード 1,000円分
1,000株以上 (分割前500株以上)	図書カード 2,000円分
2,000株以上 (分割前1,000株以上)	図書カード 3,000円分
4,000株以上 (分割前2,000株以上)	図書カード 4,000円分
6,000株以上 (分割前3,000株以上)	図書カード 5,000円分

※2024年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様から変更後の株主優待制度を実施いたします。



最低単元100株から
株主優待を贈呈

■ 配当利回り (分割後のイメージ)

[分割前]	単元株100株(分割前)を 株価1,313円※ で購入いただくと… ※2023年5月31日終値 配当3,600円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額4,600円 配当利回り 3.50 %
[分割後]	単元株100株(分割後)を 株価657円※ で購入いただくと… ※分割後の株価を2023年5月31日終値の半値として算出。 配当1,800円 + 株主優待1,000円 ▶ 実質配当金額2,800円 配当利回り 4.26 %

※配当は2024年3月期 第2四半期末に予定している記念配当を含んだ金額で算出しております。

[新規事業] 来店型集配金サービス「CASHTRUST(キャッシュトラスト)」の提供開始

■ みなと銀行の出張所内に専用ブースを設置し、来店型集配金サービスの提供を開始いたしました。

みなと銀行出張所内 CASHTRUST ブース



開始日 2023年3月27日

設置場所 神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館・西端1階
(みなと銀行本店営業部三宮センター街出張所 ATMコーナー内)

営業時間 月曜日～土曜日・祝日 9:00～22:45
日曜日 9:00～20:45

背景

- ▷ 銀行の支店統廃合やATMコーナーの縮小・廃止
- ▷ 銀行による集配金、夜間金庫の廃止
- ▷ 両替における枚数制限・手数料の値上げ

CASHTRUST

【売上金入金】

翌銀行営業日(最短で翌日)にご指定の銀行口座へ振込。
※他行の口座への入金も可能
過去の入金履歴や振込実績をWEB上で簡単に確認できます。



【釣銭パック受取り】

両替オーダーをWEBからエントリー。専用のIDカードと、WEB上で発行するワンタイムパスワードにより、無人ブースから釣銭パックを受け取れます。



▷ 今後も、お客様の更なる利便性向上を目指して「CASHTRUST」の機能強化に努めてまいります。

07

ESG・SDGs

「物流を通じて社会の発展に貢献します」の理念のもと、サステナブル経営を実践してまいります。

ESGの基本的な考え方

<p>環境 [Environment]</p>	<p>生活に密接した物資を輸送するという大切な使命を果たしながら、このかけがえのない地球環境を守っていく活動を推進してまいります。</p>	
<p>社会 [Social]</p>	<p>社会貢献活動を通じて良き企業市民としての役割を果たし、社会に必要とされる企業を目指してまいります。</p>	
<p>企業統治 [Governance]</p>	<p>ステークホルダーの立場を踏まえ、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うべくコーポレートガバナンスの実践に取り組んでまいります。</p>	

ESGを経営の根幹と定め、会社の持続的成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

当社が推進する GOALS

※ 青枠：中期経営計画2022年4月～2025年3月で定めた、3か年で特に注力していくGOALS

環境や人に配慮した事業活動を通じ、新たな技術革新をしていくことで、GOALSの達成に向け貢献してまいります。

「物流を通じて社会の発展に貢献します」

■ 当社が取組む主なCSR活動



【太陽光発電】

自社物流センターの遊休スペースである屋上部分にソーラーパネルを設置し、太陽光発電による再生可能エネルギーとして、売電事業を行っております。



【環境配慮型車両】

2025年3月までに、環境配慮型車両の保有率を10%まで引き上げ、環境に優しい物流の構築に取り組んでまいります。



【障がい者雇用】

障がいを持つ方々の雇用機会の場と、その能力を充分に発揮していただきながら安心して就労できる職場環境を提供するため、カンダハーティーサービス㈱(特例子会社)を設立しております。



- ▶ 当社が取組むCSR活動をESGの観点からまとめた「CSRレポート」を毎年発行しています。
- ▶ 2023年版につきましても、本年8月の発行およびホームページ上での開示を予定しております。



当社HPのCSRのページはこちら

■ 今年度より制度化された「二つ星認証」において、申請していた全ての営業所で取得いたしました。

【認証取得状況】 ※グループ合計25営業所で「二つ星認証」を取得いたしました。

カンダコーポレーション(株) 5営業所 (昨年の一つ星認証時から1営業所追加) / (株)カンダコアテクノ 7営業所

カンダリテールサポート(株) 4営業所 / カンダ物流(株) 8営業所 / (株)名岐物流サービス 1営業所

【二つ星認証の審査要件】

認証項目	判定内容 (一部抜粋)
1. 法律遵守	労働基準法、36協定等の違反有無
2. 労働時間・休日	長時間労働の管理、休日取得への取組み状況
3. 心身の健康	健康診断の実施、ハラスメント相談窓口の設置状況
4. 安心・安定	定年延長制度の有無、時間外手当の支払い状況
5. 多様な人材の確保・育成	運転免許取得支援制度の有無、女性運転手の働きやすさ
6. 自主性・先進性等 ★★	上記1～5における自主的、先進的な取組みの実施 ★★二つ星取得の追加要件



※二つ星認証の証書受領前のためイメージ画像

「働きやすい職場認証制度」とは・・・

自動車運送事業におけるドライバー不足の解消に向けて国土交通省・厚生労働省が推進する取組みで、トラック運転手の労働条件・労働環境を認定団体が公正に評価し、優良な職場環境の運送事業所として認証を受けることができる制度です。

- ▷ この認証を、日頃から取組む「働きやすい職場環境の整備」の指標として、有効に活用してまいります。
- ▷ 今後も、より良い認証取得を目指して継続して取り組んでまいります。

2023年4月 「女性活躍推進法に基づく行動計画」を開示いたしました。

【カンダコーポレーション(株)の行動計画】

計画期間 2023年4月1日～2028年3月31日

課題

- ▼ 営業所勤務の新入社員(総合職)が少ない
- ▼ 性別に対する固定的な役割分担意識が残っている
- ▼ 身体的負担が大きい作業が発生する
- ▼ 正社員における男女の平均勤続年数の差が大きい
- ▼ 子育て中の従業員をカバーする人手が不足している

取組内容

- 営業所勤務の女性を選抜した「柔軟な働き方プロジェクトチーム」の結成
- 配属先の営業所に向けた意識改革研修の実施
- プロジェクトの内容精査と実行に向けた取りまとめ
- 各営業所の設備を女性目線で調査する
- 子育て支援の検討
- 上記の精査と実行に向けた取りまとめ

【その他グループ会社の開示状況】

(株)カンダコアテクノ	2023年4月
カンダリテールサポート(株)	2023年4月
(株)ペガサスグローバルエクスプレス	2022年5月
(株)ロジメディカル	2022年4月
カンダ物流(株)	2022年4月



- ▶ 「柔軟な働き方プロジェクトチーム」は本年6月に結成され、活動を開始しております。
- ▶ 女性だけでなく、障がい者や外国人などすべての従業員が安心して長く働けるようダイバーシティを推進しております。



■ 当社のスクールが「登録講習機関」として認定されました。

国家資格の制度化

2022年12月の航空法改正にともなって制度化された「無人航空機の操縦者技能証明制度(一等・二等)」。

「一等無人航空機操縦士」の技能証明書保持者にのみ、レベル4(有人地帯での補助者なし目視外飛行)での飛行が許可されます。

【スクール概要】

開校 2021年4月
 名称 **カンダドローンスクール**
 運営 (株)神田エンタープライズ
 施設 社内研修施設「足利教育研修所」(栃木県足利市島田町604)

【国家資格】

一等無人航空機操縦士 ・ 二等無人航空機操縦士


※登録講習機関での受講により資格取得の実地試験が免除となります。

【民間資格(JUIDA)】

無人航空機操縦技能証明 ・ 無人航空機安全運航管理者証明

取得
可能資格



登録講習機関 登録証	
第 TD038923050396 号 令和 5 年 5 月 1 日	
株式会社神田エンタープライズ 江文 順一 殿	
 国土交通大臣	
令和 5 年 5 月 1 日付け第 TD038923050396 号により申請のあった講習機関の登録について、航空法第 132 条の 6 9 の規定に基づく登録講習機関として、下記のとおり登録する。	
記	
1.登録年月日	令和 5 年 5 月 1 日
2.登録番号	国空無機第 21203 号
3.登録講習機関の名称 及び住所並びに 代表者の氏名	株式会社神田エンタープライズ 江文 順一 東京都千代田区神田三崎町 3 丁目 2 番 4 号
4.登録講習機関の種類	一等無人航空機操縦士 講習機関 回転翼航空機(マルチローター) 種類の限定解除: なし 飛行方法の限定解除: 目視内飛行、昼間飛行
5.登録期間	令和 5 年 5 月 1 日 ~ 令和 8 年 4 月 30 日
6.登録講習機関における 無人航空機講習の 開始日	令和 5 年 6 月 1 日

▷ ドライバー不足や過疎地への配送に対する将来的な課題解決に向けて人材の育成に取り組んでおります。

「物流を止めない」～災害への備え～

【基本方針】

- 従業員とその家族の安全・安心を最優先に活動します。
- 施設、設備についての予防措置及び支援物資の確保を行います。
- 事業存続及び早期復旧を目指した体制を確立します。
- 地域社会の一員として貢献します。
- 従業員の定期的な教育訓練と計画の定期的な見直しを行います。



【食料・飲料水の備蓄】



【データバックアップ】



【緊急時連絡体制(衛星電話)】



【高耐震施設】



【非常用自家発電設備】



【燃料確保(インタンク)】



【車載用非常食の全車配置】

大雪や台風などにより車両が立ち往生してしまうことに備え、ドライバーの健康と安全を守るべく、トラックおよび営業車に非常食を配置しております。



【BCP研修会の実施】

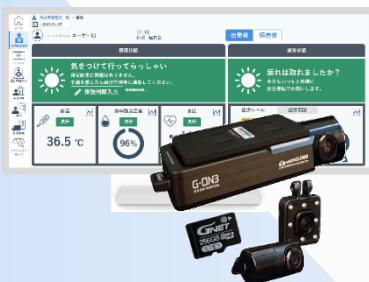
2022年5月 BCPへの理解を深めるため、グループ会社の役員を対象とした研修会を実施いたしました。

▶ 予想される重大な災害等(自然災害・感染症等)により甚大な被害が発生した場合においても、物流サービスの継続的な提供による社会貢献を行うことを目的として『BCP基本方針』を定め『事業継続計画』を策定しております。

2024年3月期 運輸安全マネジメント

基本的な方針

- ① 安全と生命は全てに優先する
- ② 安全・確実・迅速の業務遂行
- ③ 安全管理体制と安全教育体制の強化



2023年9月頃より（公社）全日本トラック協会が推進する
安全性優良事業所認定制度（Gマーク認定制度）のPR活動とし
て、ラッピングされた弊社のトラックが運行されます。

2024年3月期 活動予定（一部抜粋）

- ・教育および整備計画を基幹システム上で一元管理
- ・運行管理者および補助者を対象とした研修会の実施
- ・安全講習会の実施
- ・運行管理者の資格取得支援講習会の実施
- ・初任運転者向け実車研修および安全教育の実施
- ・足利教育研修所を活用した実技指導の実施
- ・セーフティアドバイザー向け研修の実施
- ・運行管理のデジタル化推進（点呼補助ロボット、遠隔点呼システム）
- ・新型ドライブレコーダーの導入
- ・適性診断のラインナップ増加（受講可能人数の拡大）
- ・定期的な職場巡回を行い安全指導の実施
- ・SDカード（安全運転者カード）の取得推進
- ・Gマーク（安全性優良事業所認定）の取得推進
- ・上期および年末年始事故防止特別運動の実施
- ・健康起因事故の防止に向けた健康指導の実施
- ・先進安全運転支援機器の試験導入
- ・先進安全装置車両の導入
- ・グリーン・エコプロジェクトへの参加（エコドライブ活動の推進）
- ・動画KYTシステムによる安全教育の実施
- ・全国交通安全運動への参加

2024年3月期 安全対策費用

予算)11,000万円（2023年3月期実績 9,500万円）

本資料は、投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資への勧誘を目的としたものではありません。

記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであります。

従いまして、将来の計画数値や施策の実現等について記載された内容を確認したり保証するものではなく、実際の業績は当社を取り巻く様々なリスク及び不確実性により、これら見通しとは異なる結果をもたらさうることがあることをご承知おきください。

また、本資料に記載されている当社及び当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社はこれを保証するものではありません。

 **カンダホールディングス株式会社**

お問合せ先: カンダホールディングス株式会社 総務部株式課

電話: 03-6327-1811(代) FAX: 03-6327-1800

ホームページ: <https://kanda-web.co.jp/>

e-mail: hd-soumu@kanda-web.co.jp